

●七十二侯の第八候、『桃始笑（ももはじめてさく）』

〇花桃の季節です

●二十四節季の啓蟄（けいちつ）の次候（七十二侯の第八候）には、『桃始笑（ももはじめてさく）』とあり、桃のかわいらしい花が咲く季節です。昔は花が咲くことを『笑う』、『笑む』と表現していました。冬を乗り越えたつぼみが春の日差しでほころぶ様をみると、こちらも自然と笑顔になりますね。

公方公園の花桃は何本？

園内にはおよそ 1500 本の花桃が植えられており、一面に桃の花が咲き乱れます。その景色は、さながら桃源郷のようです。

〇花桃の種類について

●園内には、主に 6 種類の花桃が植えられています。園内の 8 割が『矢口（やぐち）』という品種で、他の花桃に比べて早く咲きます。また、『菊桃（きくもも）』と呼ばれる品種は花びらが菊の花のような形状をしています。『源平（げんぺい）』は、一つの木に紅白 2 色の花がつく、珍しい花桃です。また、空に向かってまっすぐに枝を伸ばす、『照手桃（てるてもも）』、真っ白い花を咲かせる『寒白（かんぱく）』、低い高さで花を楽しめる『寿星桃（じゅせいとう）』もあります。また、その他にも『黒川矢口（くろかわやぐち）』や、『源平しだれ』といった珍しい品種も植えられています。

〇古河桃林の歴史

●古河を代表する観光資源である桃林は、1640 年頃の古河城主であった土井利勝が、薪不足解消のために植えさせたという来歴があり、江戸時代後期には藩士も家族で訪れる桃の花見の行楽地となっていました。特に明治時代末期、「古河桃林」は関東一円に知られ、桃の名所として多くの人が花見に訪れました。1973 年の古河公方公園の事業着手にあたり桃が植えられ、半世紀ぶりに市民の記憶に残る古河桃林が復元されました。



〇3 月は、色々な植物が花を咲かせます

●春は様々な植物が開花します。冬のあいだ、毛皮のようなつぼみを持ったコブシやネコヤナギも花を咲かせます。また、早咲きの桜である、寒緋桜（カンヒザクラ）、彼岸桜（ヒガンザクラ）もソメイヨシノより早く開花します。また、足元に目を向けると、野草がちらほらと花を咲かせており、かわいらしいホトケノザやオオイヌフグリの花を見ることができます。



●花桃の香りに包まれて、春の公園をてくてく散歩してみてもいいでしょうか？

【発行】（一財）古河市地域振興公社 古河公方公園（古河総合公園）〒306-0041 茨城県古河市鴻巣399-1 電話0280-47-1129

〇てくてく情報は公式ホームページからもダウンロードできます。

古河公方公園

検索

